

令和5年度愛知県立宝陵高等学校福祉科推薦選抜実施要項

1 出願資格

本校福祉科の推薦選抜に出願することのできる者は、次の(1)から(3)までの全ての条件及び「2 推薦基準」を満たし、中学校長（義務教育学校及び中等教育学校の校長を含む。以下同じ。）の推薦を得た者とする。

- (1) 令和5年3月に中学校若しくは義務教育学校を卒業する見込みの者、又は中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者
- (2) 本校福祉科を志望する動機・理由が明白・適切で、当該学科に対する適性及び興味・関心を有すること。
- (3) 人物及び学習成績が優れていること。

2 推薦基準

- (1) 「㊦ 人物が優れており、運動、文化、芸術、奉仕活動等の諸活動（特別活動及び総合的な学習の時間における活動を含む。）のいずれかにおいて優れた能力・適性及び実績等を有する者」として、本校福祉科の教育課程を履修する学力を有するとともに、次の事項のいずれかに該当すること。

ア 中学校において部活動に意欲的に取り組み、選手として活躍し、地区大会において入賞するなど優秀な成績を収めた者（県大会以上出場）、又は、それと同等の成果が認められる者

イ 中学校3年間、継続して、部活動に意欲的に取り組んだ者

ウ 運動、文化、芸術に関する各種の公式の競技会、コンクール等において優秀な成績を収めた者（県レベル以上の大会入賞）、又は、それと同等の成果が認められる者

エ 環境や福祉などに関する地域のボランティア活動に積極的かつ継続的に取り組んだ者及び奉仕・善行等により表彰された者

オ 生徒会役員、級長、副級長、部活動の正副部長を務めるなど、特別活動において顕著な活動をした者

カ 総合的な学習の時間において、独創的な研究や継続的な活動を行い、また、その成果を学校の内外において発表するなど、優れた活動をした者

キ 資格試験（英語検定3級、漢字検定準2級以上）や情報技術などにおいて優れた成績を収めた者、又は、それらの資格取得を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者

ク 運動能力に優れ、新体力テストA段階を取得した者、又は、当該基準を満たす記録を有する者

ケ 運動能力に優れ、段級（剣道、柔道、弓道1級以上）等を取得した者、又は、それらの段級取得を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者

コ その他、出身中学校長が上記の事項に準ずると認めた者

- (2) 「㊧ 人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模

範となる者」として、本校福祉科の教育課程を履修する学力を有するとともに、保護者又は志願者が「令和5年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」に示す「『恵まれない環境』に該当する事由及び証する書類」の事由のいずれかに該当すること。

(3) 「㊟ 人物が優れており、『調査書』の『学習の記録』が優秀で、学習活動において他の模範となる者」として、次の事項のいずれかに該当すること。

ア 勉学への強い関心と意欲があり、学習面でのクラスのリーダーとなり継続的に努力できる者

イ 学習の基礎・基本を身に付けていて、入学後もより高度な学習に取り組む意欲のある者

(4) 本校の推薦選抜において特に重視すること

ア 将来に向けて明確な進路希望を持ち、その実現に向けて何事にもねばり強く取り組むことができること。

イ 本校の福祉科の学習分野への関心が高く、資格取得や地域における活動などに積極的に取り組む意欲があること。

ウ 常に真摯な態度で施設実習等に取り組むことができること。

エ 基本的な生活習慣が身に付いていて（出席良好等）、規則正しく健康的な学校生活を送ることができること。

3 合格者数

推薦選抜の合格者は、本校福祉科の募集人員の30%程度から45%程度とする。

なお、「人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」の募集については、当該学科の募集人員のおおむね5%とし、上記に含む。

4 出願の手続き

出願に当たっては、「推薦選抜入学願書」、「調査書」、「推薦書」等の必要書類を、次の期日に本校に提出する。

令和5年2月1日（水）及び同年2月2日（木）

受付は、2月1日（水）は9時から16時まで、2月2日（木）は9時から15時までとする。（郵送による場合も、提出締切日時までに必着のこと。）

5 面接の実施期日

令和5年2月6日（月）

なお、個人面接で行う。

6 合格者の発表日時及び方法

令和5年2月8日（水） 14時

ウェブページ及び掲示により合格者を発表し、中学校長を通じて本人に通知する。